



校内介護実習を実施しました！

3年生が9/7(火)から4日間、1・2年生は9/8(水)から3日間、施設での介護実習を予定していましたが、コロナウイルス感染防止等諸事情が重なったことにより、1週間前倒して3年生は8/31(火)から、1・2年生は9/1(水)から校内で介護実習を行いました。

～9月1日(水)～

午前 福祉科教諭による学習を行いました。森田教諭は「実習時における『人を大切にすること』について」の講話、高月教諭はコミュニケーション技術を使い、学年の枠を越えてコミュニケーションを図る活動を行いました。特に1年生と3年生は普段から交流する機会が少ないためペアになって他己紹介をしたり、伝えること・聴くことなどの意義を学びました。



午後 南島原市内で高齢者を中心に地域ボランティア活動をされている『ささえさんの会』の方に、認知症についての講話や活動の紹介、絵手紙作成の伝授等をしていただきました。絵手紙は、これまで福祉科でも作成し、ささえさんの会を通じて市内の高齢者の皆様にお届けさせていただいております。今回は、持参していただいた絵手紙をお手本にしたり、タブレットでアイデアを検索したりしてさらにパワーアップした絵手紙を作ることができました。完成した絵手紙は、市内の高齢者の皆様に届けられます。



～9月2日(木)～

午前1

口之津町にある玉峰寺の中村知見住職に「職業人として働くということ」と題して講話をしていただきました。知見先生には一昨年から毎年福祉科の生徒に講話をしていただいています。また、1年生全員に知見先生の著書「お釈迦様の薬箱」をサイン入りで贈呈していただきました。ありがとうございました。



午前2

福祉科・石田教諭が「実習日誌の書き方～より充実した日誌を書くために」という実践を交えながらの講話を行いました。介護実習中は毎日実習日誌を書いています、実習日誌の目的など振り返りながらあらためて日誌の意義を学習しました。



午後

いさはやコンピュータカレッジ様より「プログラミング」についてご教授いただきました。ありがとうございました。

～9月3日(金)～

実習最終日は、「九州地区高校生介護福祉研究発表会」がリモートで行われ、九州地区各県代表の研究発表を全員で視聴しました。午後には審査結果発表も行われ、長崎県代表として出場した口加高校は「奨励賞」という結果でした。全国大会進出は逃しましたが、出場した3年生3名のがんばりを無駄にすることなく、今後活かしていきたいと思えます。応援ありがとうございました。

